

地方独立行政法人神奈川県立病院機構  
平成27年度 業務実績評価書  
(素案)

平成28年 月

神奈川県地方独立行政法人  
神奈川県立病院機構評価委員会

神奈川県地方独立行政法人神奈川県立病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）は、地方独立行政法人法第28条に基づき、次のとおり地方独立行政法人神奈川県立病院機構（以下「県立病院機構」という。）の平成27年度の業務実績に関する評価を実施した。

## 1 年度評価の基本方針

業務実績に関する評価は、平成23年2月4日に決定した「神奈川県地方独立行政法人の評価の基本的な考え方について」に基づき、次の基本方針により行う。

中期目標の達成に向けて、法人の中期計画の事業の進捗状況を評定する。

県民への説明責任の観点から、評価を通じて、中期目標の達成状況や業務の実施状況を分かりやすく示す。

法人の組織・業務運営等に関して改善すべき点を明らかにすることにより、法人運営の質的向上に資する。

年度評価にあたっては、当該事業年度における中期計画の実施状況について調査及び分析をし、業務の実績の全体について検証のうえ、「項目別評価」及び「全体評価」により行う。

### ア 項目別評価（小項目評価）

評価委員会は中期計画及びそれに基づく年度計画の項目（小項目）ごとに、法人が提出する自己評価を付した各事業年度の業務実績に関する報告書を基に、業務実績の検証を踏まえ、評価を行う。

### イ 項目別評価（大項目評価）

評価委員会は、中期計画及びそれに基づく年度計画の項目（大項目）について、小項目評価の結果及び業務実績に関する報告書を基に、業務実績の検証を踏まえ、評価を行う。

### ウ 全体評価

評価委員会は、項目別評価の結果及び業務実績の検証を踏まえ、中期計画の進捗状況について総合的に評価を行う。

また、必要がある場合は、業務の改善その他の勧告を行う。

## 2 全体評価

### (1) 評価結果と判断理由

平成27年度は、中期計画の達成にあたり全体として順調な進捗が図られた。

第二期中期計画の初年度である平成27年度は、高度・専門医療としての、又は地域医療における中核的病院としての役割を各部門が有機的に連携して県立病院に求められる機能が果たされた。がんセンターにおける重粒子線治療施設の整備や治療開始、適切な緩和ケアの提供、こども医療センターにおける栄養支援相談の充実強化等のほか、各種研修等の実施や看護学生の実習受入の拡大、みらい臨床研究支援センターの設置による臨床研究のための基盤及び支援体制の整備の推進等、着実な成果が認められた。

「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「経営基盤の強化に関する目標を達成するためとるべき措置」、と

いう2つの大項目に関しては、 と判断した。

各大項目について、特徴的な取組の概要を記載。以下は記載例。

ア 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置

採用試験の見直しや高度医療セクレタリーの配置等、質の高い医療の提供に向けた取組がなされたほか、患者側と医療者側の対話促進支援や各種研修の実施等、患者や家族から信頼される病院に向けた取組がなされた。

また、各病院において、次のような取組が認められた。

足柄上病院

こども医療センター

精神医療センター

がんセンター

循環器呼吸器病センター

イ 経営基盤の強化に関する目標を達成するためとすべき措置

未収金回収業務の法律事務所への委託、職員による督促の実施等により、未収金の削減に積極的に取り組んだ。

また、費用の削減に取り組むとともに、幹部職員を対象とした研修の実施や職員表彰等を通じて、職員の経営意識を向上させるための取組が実施された。

### 3 項目別評価

第1 大項目「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとすべき措置」に関する評価

#### (1) 評価結果と判断理由

平成27年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、 評価とする。

「質の高い医療の提供」、「医療機器等の計画的な整備の推進」、「医療機関等との機能分化・連携強化の推進」、「ICTを活用した医療連携」、「安全で安心な医療の提供」、「患者や家族から信頼される病院に向けた取組みの推進」、「職員にとって魅力ある病院に向けた取組みの推進」及び「各病院の具体的な取組み」の8つの面における取組をそれぞれ検証したところ、小項目 43 項目中 項目で年度計画を上回る実績・成果を上げているほか、 項目で年度計画に記載された事項がほぼ 100% 計画どおり実施されており、中期計画の達成にあたり順調な進捗が図られたことから、大項目評価はA評価が妥当であると判断した。

S 評価の小項目の概要を記載。

自己評価と委員会の評価が異なる小項目の概要を記載。

B、C、D 評価の小項目の概要を記載。

## (2) 評価にあたっての意見、指摘等

全ての小項目のコメントを記載。

## 第2 大項目「経営基盤の強化に関する目標を達成するためとるべき措置」に関する評価

### (1) 評価結果と判断理由

平成27年度業務実績報告書及び小項目評価の結果を基に、業務実績の検証を踏まえ総合的に判断し、評価とする。

「業務運営体制の確立」、「予算、収支計画及び資金計画」及び「その他業務運営に関する事項（人事に関する事項等）」の3つの項目における取組をそれぞれ検証したところ、小項目7項目中 項目で年度計画を上回る実績・成果を上げているほか、項目で年度計画に記載された事項がほぼ100%計画どおり実施されており、中期計画の達成にあたり順調な進捗が図られたことから、大項目評価は 評価が妥当であると判断した。

## (2) 評価にあたっての意見、指摘等

全ての小項目のコメントを記載。